

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ソラリスキッズおりお		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		2026年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	固定化された療育プログラムではなく、子どもの特性に応じた一人ひとりに合わせた療育を行っている。 (ABAの活用)	・子どもの発達を様々な方向から評価し、一人ひとりにあった療育方法を検討し実施している。 ・職員会議や日常の業務の中で、支援の見直しや統一した支援ができるように情報共有を行い、常に改善している。 ・環境設定を行い、スペース確保や安全管理を重視し支援を行っている。	・評価やアセスメントを重視し、子どもの強みを活かした支援や弱みに対する支援方法の検討や環境設定を行う。今後もより良い支援を行っていきけるよう日々改善していく。 ・事故や怪我などのないよう安全管理と衛生管理の徹底を行い、安心して利用できる場所となるように努めていく。
2	専門的支援の資質向上を目指している	・作業療法士、保育士（児童福祉施設経験40年以上）等を配置し、専門性の高い支援を実施している。 ・外部研修の受講内容を共有し、職員の質の向上を目指している。	・定期的な研修会、事業所内の勉強会への参加、療育知識、専門知識の向上を目指す。 ・今後も職員間の情報共有を図り、チーム内の連携強化により良い支援を提供していく。
3	・ご家族に対して子供達の様子をHUGでしっかり伝え必要な情報提供を行っている。 ・ひつように応じて定期的な面談以外にも臨時で面談をしたり、電話での相談を受け付け、ご家族の不安や困りごとに寄り添っていきけるような体制づくりを行っている。	・管理者・児童発達支援管理者と現場職員でご家族との話は共有するようにし、現場職員の気づきからも管理者・児童発達支援管理責任者が保護者対応に向かえる体制づくりをしている。 ・送迎でのその日の様子をお伝えするなど日頃から職員と家族もコミュニケーションを図るようにしている。	今後も現場職員と管理者・児童発達支援管理責任者がコミュニケーションをしっかりと図り、全職員で支援を行えるようにしてきた。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信不足	・事業所の取り組み（安全管理、避難訓練等）についての情報が少ない。 ・公式SNSやホームページの更新が不定期になっている。	・事業所の理念や支援方法も公開することで、より多くの人に知ってもらい利用しやすい事業所となることを目指す。 ・今後は担当者の明確化や更新頻度の見直しを行い、継続的な情報発信に努めていく。また、活動内容や支援の様子を発信し、事業所の見える化を図っていく。
2	・ご家族に対してペアレントトレーニングや家族へ向けての研修会ができていない。 ・保護者会など家族が交流できる場を作ることができていない。	・事業所内でペアレントトレーニングを実施しようとすると職員の技術が必要となる。現時点では、子供達の療育をしっかりと行うことにマンパワーが全て取られている。 ・保護者間での交流を実現するには、マンパワーが多く必要となる。	ペアレントトレーニングができる人材を増やしたい。 ・安全に保護者間交流ができる体制づくりを考えていきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ソラリスキッズおりお
------	------------------------------

公表日 2026年3月10日

利用児童数 9人

回収数 5人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3			2	-	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4			1	-	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			1	-	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	5				-	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4			1	-	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5				-	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5				-	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5				-	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5				-	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	1		1	-	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			1	4	-	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	1			-	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5				-	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1	4	-	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5				-	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4			1	-	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5				-	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	4	-	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4			1	-		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	4		1	-	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	3		2	-	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3		2	-	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3		2	-	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	2		3	-	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	4		1	-	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4		1	-	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	1	1	-	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	1	1	-	
	29	事業所の支援に満足していますか。	5			-	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ソラリスキッズおりお				公表日	2026年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		対象利用児が少ない為、適切である。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		国の基準を守り要件を満たす人員配置を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		既存の民家を利用している為、難しい点はあると思うが、可能な範囲の配慮はされていると思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日掃除をし、BOXを利用して手持ちの荷物等を直せるようにしている。	BOXにつけている名前がマジックテープの為、外れやすくなっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			対象利用児が少ない為、個別の部屋や場所を使用することはない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		職員全員とはいいがたいが、共有するようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者の意見には積極的に耳を傾け、改善出来る点は話し合いの中で対応、良い点も報告があり継続出来ている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議や日常の中で対応している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		第三者の評価を行っているかどうかわからない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		職員会議の後、所内研修を行っている。	月1回のみで開催になっている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		連絡アプリの中でのやり取りや、送迎のやりとりの内容を共有している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		カルテに支援方法等を記載している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		カルテに支援方法等を記載している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		アセスメント結果を口頭にて、分かりやすく児発管より説明がある。	フォーマルなアセスメントの種類は少ないが、心理士がいない為、使えるものがない。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	チームではなく全職員で行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			集団活動より個別活動の方が多い。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3		打ち合わせの場はないが、支援法や役割分担は適時、指示があり、支援が行われている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		支援終了後の打ち合わせはないが、振り返りや気付いた点は、児発管を通して共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		今後、移行先との情報共有を出来ていければよい。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3			連携は出来ていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4			交流はないが、公園に出かけた際に交流することはある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2		不定期だが発信はしているが、十分ではない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		てんかん発作、服薬に関しては確認しているが、予防接種については把握できていない。
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	2			